

保育園自己評価
マニュアル

社会福祉法人 東の会

保育所保育指針第1章総則保育内容等の評価のなかで、

(4) 保育内容等の評価

ア 保育士等の自己評価

- (ア) 保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。
- (イ) 保育士等の自己評価に当たっては、子どもの活動内容やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取組む課程などに十分配慮すること。
- (ウ) 保育士等は、自己評価における自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所全体の保育の内容に関する認識を深めること。

イ 保育所の自己評価

- (ア) 保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。
- (イ) 保育所の自己評価を行うに当たっては、地域の実情や保育所の実態に即して、適切に評価の観点や項目等を設定し、全職員による共通理解を持って取組むように留意すること。
- (ウ) 設備運営基準第36条の趣旨を踏まえ、保育の内容等の評価に関し、保護者及び地域住民等の意見を聴くことが望ましいこと。

※児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第36条

保育所の長は、常に入所している乳児又は幼児の保護者と密接な連絡をとり、保育の内容等につき、その保護者の理解及び協力を得るように努めなければならない。

と記載されています。

(1) 保育士等の自己評価は、指導計画の中で評価が記載されているので、それをもって自己評価とします。(2) 保育所の自己評価については、各園の実情に沿って、適切な方法で自己評価を行ないます。(3) 法人では、保育所保育指針及び同解説、法人の事業計画との連携を図るために、各園の自己評価を基に次の手順により、各園自己評価の取りまとめをおこないます。

1) 自己評価の方針

保育所の自己評価は、法人の理念・方針・事業計画等と密接に関連しています。近年、保育所運営は社会情勢、ニーズの変化と共に重大で多様な課題に直面しています。課題は、各園に共通する状況があり、その解決・改善が法人の事業計画の主要な課題となっています。そこで、法人各園に共通する課題を評価項目として選択し、経営会議にて評価し取りまとめます。その結果を事業の次期の改善課題として事業計画に反映し、法人全体で重要課題の解決を図り、各園の保育の質の向上を図ることを目的とする。

2) 保育所自己評価の手順

- ①東京都福祉サービス第三者評価の評価項目を参考に保育園の評価項目を選択します。
- ②様式を定めて、評価及び改善を記載します。
- ③評価結果をホームページ等で公表します。

※ 本マニュアルは、平成26年4月1日より施行する。

本マニュアルは、平成30年4月1日より一部変更して施行する。

社会福祉法人 東の会
平成30年度 保育所自己評価の項目

カテゴリー・・・サブカテゴリー	評価項目	項目の選択
1 リーダーシップと意思決定 1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	①事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している ②経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている ③重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえ意思を決定し、その内容を関係者に周知している	
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 2 実践的な計画策定に取り組んでいる	①事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している ①事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している ②着実な計画の実行に取り組んでいる	○
3 経営における社会的な責任 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる 2 利用者の権利擁護のために、組織的な取組を行なっている 3 地域の福祉に役立つ取組を行なっている	①社会人・福祉サービス事業者に従事する者として守るべき法律・規範・倫理などを周知し、遵守されるように取り組んでいる ①利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている ②虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている ①透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる ②地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	○
4 リスクマネジメント 1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる 2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	①事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる ①事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	

5	<p>職員と組織の能力の向上</p> <p>1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる</p> <p>2 組織力の向上に取り組んでいる</p>	<p>①事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている</p> <p>②事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している</p> <p>③事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる</p> <p>④職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる</p> <p>①組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる</p>	<p>○</p> <p>○</p>	
6	サービス提供のプロセス(認可保育園)	<p>1 サービス情報等の提供</p> <p>2 サービスの開始・終了時の対応</p> <p>3 個別状況の記録と計画策定</p> <p>4 サービスの実施</p>	<p>①利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p>①サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <p>②サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている</p> <p>①定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析及び課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している</p> <p>②全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している</p> <p>③子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している</p> <p>④子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している</p> <p>①子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている</p> <p>②子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている</p> <p>③日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるように工夫している</p> <p>④日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している</p>	<p>○</p>

	<p>⑤保育時間が長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている</p> <p>⑥子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している</p> <p>⑦子どもが心身の健康を維持できるよう援助している</p> <p>⑧保護者が安心して子育てすることができるよう支援している ○</p> <p>⑨地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行なっている</p>	
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p>①子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p>②サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p>	
6	<p>事業所業務の標準化</p> <p>①手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている</p> <p>②サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている。</p>	
7	<p>事業所の重要課題に対する組織的な活動</p> <p>1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行なっている</p>	<p>①事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている ○</p>

社会福祉法人東の会
平成30年度 保育所自己評価の項目

カテゴリー・サブカテゴリ	評価項目	30年度評価項目選定理由、着目点など
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 ② 実践的な計画策定に取り組んでいる	② 着実な計画の実行に取り組んでいる	事業所の重要課題は、4園で共通しており、以下の課題がある。 課題を毎月の経営会議にて目標設定・取り組み・結果の検証・ 次期の事業活動等への反映を毎月発表し、重要課題の組織的 な取組を実施している。 重要課題 ① 職員の確保、定着、育成 ② ①の土台となる理念の浸透とリーダーの育成 ③ 働きがいのある職場環境の醸成、特にチームワークの育成 ④ 保育環境の見直しと保育の質の向上 ⑤ 保護者への保育内容の説明、日々の連携 ⑥ 保育制度の変更への適切な対応
3 経営における社会的な責任 3 地域の福祉に役立つ取り組みを行なっている	② 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	「みだけがいいね」と地域の方に思っていただける地域貢献活動 の成果はどうであったか？
5 職員と組織の能力の向上 1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる 2 組織力の向上に取り組んでいる	④ 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる ① 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	職員は意欲的に仕事に取り組むことができていたのか？定着への 成果があったのか？ 組織としての学びやチームワークなど組織力は向上したのか？
6 サービス提供のプロセス(認可保育園) 4 サービスの実施	③ 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるように工夫している ⑧ 保護者が安心して子育てができるよう支援している	子どもの生活や遊びが豊かに展開される工夫があったのか？ 保護者の方への保育の説明や日々の連携はどうだったのか？
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行なっている	① 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている	事業所の重要課題に対して、継続的に取り組んでいたのか？

カテゴリー サブカテゴリー	評価項目	30年度の評価	今後の改善計画
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
2 実践的な計画策定に取り組んでいる	②着実な計画の実行に取り組んでいる	<p>みたけでは、法人の4園の園長、主任による経営会議を毎月開催しています。バランススコアカードの考え方により、ご利用者満足、職員満足、経営満足の3つのカテゴリー区分ごとに、共通の重点項目を決めて、毎月の課題と成果、翌月の取組むことを、経営進捗状況として発表しています。</p> <p>このような手法を用いている理由は以下のとおりです。</p> <p>①近年の保育を取り巻く状況は激変しているが、その対応を園だけで行うことは非常に難しく、法人と園が一体となって取り組むことで改善はじめて可能となります。</p> <p>②実際の課題解決には、園長・主任のリーダーシップが必ず必要であり、経営会議はそのリーダーシップを育成する場としています。</p> <p>③重点項目は、各園とも同じ内容が多く共通していることが多くあります。</p> <p>④同じ課題に対して各園が工夫して取り組んでいることを発表することで、他園にも課題解決に向けての取り組みが自園のヒントになる点などが有効です。</p> <p>⑤園長・主任への責任と期待がたいへん大きくなっています、同じ立場の職員が話し合う場を設けることで負担感を前向きな気持ちに変えていく同僚性の育成を図っています。</p> <p>経営進捗状況で重点項目として取り上げた内容は、今年度のカテゴリー・評価項目において同様な事項があり、下記の項目を自己評価項目として取り上げました。</p>	<p>重要な経営課題は、単年度で解決することが難しい課題、園だけでは解決ができないことも多くあります。</p> <p>計画の着実な実行には、経営会議のよる法人レベルでの検討や対応、園会議やクラスでの実践を連携して積み重ねて行くことが必要です。</p> <p>難しい課題ほど、組織的にPDCAサイクルによって継続して取り組むことが必要です。今後も経営会議等により着実な計画の実行を図ります。</p>
3 経営における社会的な責任			
3 地域の福祉に役立つ取り組みを行なっている	②地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	<p>社会福祉法人には地域貢献活動が法的に義務付けられたので、経営会議で重要な取組みとして「みたけがいいね！と言われる活動」をテーマに取り組みました。</p> <p>本園は、園庭・園舎が狭いため、すぐ近くにある市の平和公園での園外活動が欠かせない活動になっています。この公園は広場のほか植木も植えられ、地域の方にも親しまれている公園のほか、災害時の一時避難所にもなっています。しかし、夏場は雑草が生い茂ってしまい、不法投棄やごみの散乱もあり、市の管理下にありますが、管理ができていない状態が続いていました。</p> <p>園では、子どもたちの活動場所として利用させていただいてることのお礼の気持ち、子どもたちへの安全管理も含めて、数年前より、定期的な清掃活動に取り組んでいます。職員全員で、除草や植木の手入れなども行って、公園の管理を年間を通して行なっています。今では、公園はきれいな状態がキープされて、地域の子どもの遊び場、散歩の方々の憩いの場所となっています。</p>	<p>このような公園は、地域の子どもたちにとって大切な遊び場です。しかしながら、管理が行き届かない場合は、遊び場がゴミ捨て場や危険な場所になってしまうこともあります。園では、日常的に使用させていただいているだけでなく、災害時の避難場所などの重要な場所として、できる範囲での清掃管理を継続していきます。</p> <p>このような活動は、直接の子育て支援ではありませんが、地域の方に身近な保育園の存在を知っていただき、地域で共に子どもを育てていく意識の向上に結びつくと考えています。</p>

5 職員と組織の能力の向上			
1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	④職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	<p>法人では、人材不足の改善は、まず、「職員がやめないこと」として、働きがいのある職場づくりを重要な取組としました。取り組みを進めているが、法人全体では離職率が悪化してしまいました。</p> <p>本園での退職は前年度より減少しました。園長等が職員の性格などを踏まえて、個々の職員との面談を数多く行うなどきめ細やかな対応を心がけました。柔軟な働き方などに工夫して常勤から非常勤への勤務形態の変更等により勤務を継続しています。</p> <p>新卒の職員を継続して採用できていますが、意欲的に課題に取り組んでいる姿が見られ、施設内研修の取り組みも成果を上げて順調な成長が見られています。</p>	それぞれの職員の希望に沿って勤務時間等に制限があっても、リーダーの役割を分担するなど、新しい取り組みを開始しています。柔軟な働き方と職員の能力を活かす取り組みを進めて、さらに意欲的に仕事に取り組めるようになります。また、理念の浸透やOJTの充実も図っていきます。
2 組織力の向上に取り組んでいる	①組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	<p>法人では、「みんなで作る、みんなの笑顔！」を理念に掲げているとおり、チームワークの醸成を重要課題としています。保育の方向性でも「同僚性」の重要性が示されており、経験や年齢に関係なく、全ての職員がチームとして力を発揮することを重要な取組としました。</p> <p>本園では、園長のリーダーシップのもとに、チームワークの取り組みを大切にしています。全体職員会議で園長がチームワークの重要性を何度も説明し、副園長・ミドルリーダーによる日常の事例検討と保育者間の話し合いを活発に行っています。連携のミスなどの課題が出た時には、すぐに振り返りを行ない、チームとしてどうすれば良かったかなどの意見を出し合うなど、意欲的な取組を行っています。</p>	園長のリーダーシップが発揮され、チームワークが良い状態が保たれています。サブリーダー層の職員のリーダーシップ育成にも取り組み、より小単位でのチームワーク、新しい職員がチームに馴染めるような取り組みも進めています。
6 サービス提供のプロセス(認可保育園)			
4 サービスの実施	<p>③日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるように工夫している</p> <p>⑧保護者が安心して子育てができるよう支援している</p>	<p>法人では、各園の特性を活かしつつ、各園ごとに重点的に取り組む保育を決定し、それに沿って保育が展開されることを重要な取組としています。保育所保育指針が改定され、その内容を伝える外部研修などが活発に開催され、研修を受講した職員から、自園の保育の考え方や進め方を変える意欲が高まっています。このような前向きな変革の動きを支援して、各園の保育の質の向上を進めてきました。</p> <p>本園は、園舎が狭いので、園の物品や環境、保育の進め方を何度も見直し、さまざまな工夫をして保育の充実を図りました。近隣の公園や園バスの活用を含めて、子どもたちが思いっきり体を動かせるようにしました。また、子どもが主体的に活動することにねらいを定めて、絵本や散歩、園外保育などを連携させて、子どもの興味や意欲を高める活動に、積極的に取り組みました。</p> <p>法人では、低年齢児からの保育や長時間の保育が拡大する中で、日々の保育における保護者の方と園との連携や情報交換が非常に重要になっています。保育内容の変更が必要になっていることを背景に、園の方から、園で取り組んでいる保育内容やその変更の内容を伝えて、ご理解をいただくことを重要な取組としています。</p> <p>本園では、ドキュメンテーションの手法を用いて、園が目指している「子どもたちが主体的に行なう保育」の取り組みを、写真と言葉によるポスター展示に取り組みました。展示作成を通じて、保護者が子どもの姿を見る視点や保護者の方に伝えるスキルを高めることなどの学びの場としています。また、行事や面談などの時に、取り組んできた保育のねらいなどを説明して、保護者の方にご理解いただけるように工夫しています。</p>	<p>園規模が小さいため、職員数が少なく、また、経験の浅い職員が多い状況にあります。管理者メンバーがリーダーシップを発揮して、新しい保育や園の課題改善への取り組みを継続的に行ない、職員のスキル、意欲向上にも成果ができています。今後も、小さい園だからこそその一体感、団結力を高めて、保育者同士の話し合いを活発化させて、保育がさらに豊かに展開されるように進めていきます。</p> <p>日常の保育のねらいや出来事を、保護者の方の状況に配慮してお伝えすることは、保育者にとってとても難しい課題です。しかし、保護者の方との信頼関係の構築には、日々の保育を行なっている各クラスの保育者こそが、このスキルの獲得が大切です。各クラスの保育者が自分の言葉で、保護者の方に、日々の保育や子どもたちの成長を話せるように育成していきます。</p>
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動			

	<p>1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行なっている</p>	<p>①事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている</p>	<p>法人では、上記の各項目で説明しているとおり、事業所の重要課題に対してPDCAサイクルを基盤に改善を行なっています。</p> <p>本園は、年度、時期、行事、日々など園のさまざまな活動の場面を通して、前回の振返りを基に、PDCAサイクルにより改善を行なっています。</p>	<p>今後も現状の手法を継続し、さらに工夫、改善を行ない、質の向上を図ります。その都度の成果を積み重ねて、課題を一つ一つ改善していきたい。</p>
--	---	---	--	---